

# 令和4年度 岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

## ◆市町村名

八百津町

## ◆配属部署

教育課 社会教育係

## ◆家庭教育支援員の役割

- ・4月当初に、家庭学級合同運営委員会を行い、保育園小中の担当に今年度の本町の方針の趣旨説明や委託内容を説明する。今年度もコロナ禍の中、多くの人が集まって活動することに制限がある中、工夫しながらできることを進めるように助言する。
- ・乳幼児・保育園・小中学校の家庭教育の充実をはかり、子育ての支援を通してより良い親子関係を構築することや家庭教育への関心を高めてもらうことを重点とする。
- ・家庭支援についての打合せ会や保小の連携会議を企画し、家庭が抱える悩み、諸問題、複合案件の対応などを検討し、保護者や学校への相談活動の充実を図る。

## ◆主な活動

### ■乳幼児学級を開催（年9回）し、学級生への支援、交流を実施。

【活動の例：11月乳幼児学級での「いもほり体験」の様子】

- ・13組の親子、31名の参加。
- ・地域の方からお借りした畑で、大きなサツマイモを親子で収穫した。収穫時には、地域講師の方から、焼きいもをいただき、収穫体験の実感などお聞きすることができた。子育てで体験することが難しい「収穫」を学級生が交流体験することで、体験による各親子のふれあいの場となったこと、学級生同士が子育ての話気軽にできる場となったことなど、よい活動となった。



### ■保育園・小学校で家庭教育学級

- ・今年度もコロナ禍で参集しての活動が十分にできない状況にあったため、在宅型での研修を推進し、「元気アップ」「家庭学習」「一家庭一実践」などを行った。
- ・保育園については、4保育園が連携し実施しているが、中心となる「ちびっこ広場」の活動で家庭教育の啓発を予定していたが、コロナ感染症拡大防止のため中止した。

### ■家庭支援への相談活動などの充実

- ・毎月の学校からの不登校などの報告やその他の情報などを、教育課の担当で確認し、対応を検討した。定期的な学校訪問や要請による教育相談員や家庭教育支援員などを派遣する相談活動や、他機関への連携の推進などを行った。
- ・保小の連携を図ることを目的とした「子育てネットワーク会議」を行い、子育てなどについて啓発したい内容や、個別に支援を必要とする家庭についての協議を行った。

## ◆成果

○乳幼児家庭教育学級は、ほぼ計画通り実施できた。

- ・親子の触れ合い体験や子育てについての学びの場の提供ができた。また学級生のコミュニティづくりにもつながった。

○在宅型の家庭教育学級の充実が図れた。

- ・取組表やチャレンジカードなど工夫の見られる活動が増えた。
- ・タブレットを使用した工夫した活動も見られるようになった。

○不登校・発達障害など、いくつかの家庭の抱える困難に対応にできた。

- ・教育相談員の派遣によって、特に発達障害の視点での保護者支援ができた。
- ・町の親子教室とより連携できたことで、共有できる情報が増えた。また困り感のある保護者の方の座談会を企画し、実施できた。

## ◆問い合わせ先

八百津町教育課 社会教育係

0574-43-0390